

# 東埼玉総合病院 内科 医師募集案内



JMA Group Doctors Recruitment  
<https://job.jinai.jp/doctor/>

**JMA** GROUP

〒243-0433 神奈川県海老名市河原口1519  
JMAグループ 経営企画本部 医師人事課  
TEL:046-235-1328 Mail:jinzai@jin-ai.or.jp

# 病院概要

名称	東埼玉総合病院	病床数	173床
法人名	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス	手術室	5室
病院URL	http://saitama.jinai.jp/	救急件数	2,832件(2017年度)
開設	昭和48年9月	手術件数	1,729件(2017年度)
所在地	埼玉県幸手市吉野517-5	指定・認定等	救急指定医療機関 社会保険指定医療機関 国民健康保険指定医療機関 労災保険指定医療機関 結核予防法指定医療機関 生活保護法指定医療機関 指定自立支援医療機関(脳神経外科、整形外科、循環器科) 臨床研修指定医療機関(協力型) 難病指定医療機関
救急指定	二次救急		
診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、神経内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、リウマチ科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科		
センター	埼玉脊椎骨髄病センター 地域糖尿病センター		

## 各科認定施設等

日本糖尿病学会認定教育施設

日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設

日本消化器内視鏡学会指導施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設

日本肺癌学会関連施設

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本脳神経外科学会専門医訓練場所

日本がん治療認定医療機構認定研修施設

日本麻酔科学会麻酔科認定病院

日本脊椎骨髄病学会脊椎骨髄外科専門医基幹研修施設

日本胆道学会指導施設

## 施設基準

DPC対象病院

一般病棟入院基本料【急性期一般入院料1】(一般入院)第2352号

救急医療管理加算(救急加算)第189号

超急性期脳卒中加算(超急性期)第44号

診療録管理体制加算1(診療録1)第56号

15対1医師事務作業補助体制加算1(事務1)第10号

25対1急性期看護補助体制加算(5割以上)(急性看護)第114号

地域加算6【6級地】

療養環境加算(療)第1821号

重症者等療養環境特別加算(重)第121号

医療安全対策加算1(医療安全1)第191号

医療安全対策地域連携加算1(医療安全1)第191号

感染防止対策加算1(感染防止1)第20号

感染防止対策地域連携加算(感染防止1)第20号

抗菌薬適正使用支援加算(感染防止1)第20号

患者サポート充実加算(患者サポート)第108号

後発医薬品使用体制加算3(後発使3)第50号

病棟薬剤業務実施加算1(病棟薬1)第41号

データ提出加算 2口(データ提)第40号

提出データ評価加算

入退院支援加算1(入退支)第123号

地域連携診療計画加算(入退支)第123号

入院時支援加算1(入退支)第123号

認知症ケア加算2(認知)第147号

精神疾患診療体制加算(精疾診)第10号

ハイケアユニット入院医療管理費1(ハイケア1)第11号

脳卒中ケアユニット入院医療管理料(脳卒中ケア)第9号

地域包括ケア入院医療管理料1(地包ケア1)第12号

オンライン診療料(オン診)第38号

糖尿病合併症管理料(糖管)第74号

がん性疼痛緩和指導管理料(がん疼)第214号

がん患者指導管理料イ、ロ、ハ(がん指1・2・3)第48・12・30号

糖尿病透析予防指導管理料(糖防管)第36号

糖尿病透析予防指導管理料 高度腎機能障害患者指導加算(糖防管)第36号

院内トリアージ実施料(トリ)第41号

夜間休日救急搬送医学管理料(夜救管)第127号

救急搬送看護体制加算(救搬看護)第22号

外来リハビリテーション診療料(リハ診)第122号

がん治療連携指導料(がん指)第512号

外来がん患者在宅連携指導料

薬剤管理指導料(薬)第385号

診療情報提供料(I)検査・画像情報提供加算(電情)第20号

電子的診療情報提供料(電情)第20号

医療機器安全管理料1(機安1)第124号

在宅患者訪問看護・指導料(緩和・褥瘡ケア)(在宅)第22号

造血管腫瘍遺伝子検査(血)第38号

検体検査管理加算(I)(検1)第197号

検体検査管理加算(IV)(検IV)第29号

植込型心電図検査(植込心電)第29号

神経学的検査(神経)第135号

センチネルリンパ節生検(片側)単独法(セ単)第27号

遠隔画像診断(遠画)第33号

単純CT撮影(C・M)第772号

大腸CT加算(大腸C)第36号

単純MRI撮影(C・M)第772号

外来化学療法加算1(外化1)第113号

脳血管疾患等リハビリテーション料(I)(脳I)第121号

廃用症候群リハビリテーション料(I)

運動器リハビリテーション料(I)(理1)第163号

呼吸器リハビリテーション料(II)(呼II)第94号

がん患者リハビリテーション料(がんリハ)第51号

エタノールの局所注入(エタ甲)第28号

エタノールの局所注入(エタ副甲)第19号

組織拡張器による再建手術(組再乳)第19号

脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術含む)・脳刺激装置交換術(脳刺)第24号

脊髄刺激装置植込術・脊髄刺激装置交換術(脊刺)第33号

仙骨神経刺激装置植込術・仙骨神経刺激装置交換術(仙神交筋)第3号

乳腺悪性腫瘍手術乳がんセンチネルリンパ節加算(乳セ2)第30号

ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)

(ゲル乳再)第19号

ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術(ペ)第212号

植込型心電図記録計移植術(植込心)第31号

植込型心電図記録計摘出術(植込心)第31号

大動脈バルーンパンピング法(IIABP法)(大)第72号

胃瘦造設術・胃瘦造設時嚥下機能評価加算(胃瘦造・胃瘦造嚥)第35・19号

頭蓋内腫瘍摘出術等(通手)第268号

鼓室形成手術等(通手)第268号

肺悪性腫瘍手術等(通手)第268号

経皮的カテーテル心筋焼灼術(通手)第268号

靱帯断裂形成手術等(通手)第268号

水頭症手術等(通手)第268号

鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等(通手)第268号

尿道形成手術等(通手)第268号

肝切除術等(通手)第268号

上顎骨形成術等(通手)第32号

上顎骨悪性腫瘍手術等(通手)第268号

パセドウ甲状腺全摘(両葉)術(両葉)(通手)第268号

母指化手術等(通手)第268号

内反足手術等(通手)第268号

食道切除再建術等(通手)第268号

人工関節置換術等(通手)第268号

ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術(通手)第268号

経皮的冠動脈形成術・経皮的冠動脈血栓切除術・経皮的冠動脈ステント留置術(通手)第268号

早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術(早大腸)第16号

体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(腎)第70号

膀胱水圧拡張術(膀胱)第21号

輸血管理料II(輸血II)第96号

輸血適正使用加算(輸道)第103号

人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算(造設前)第61号

麻酔管理料(I)(麻管I)第174号

無菌製剤処理料(菌)第106号

入院時食事療養(1)(食)第782号

# 診療科

## 診療科の特徴

消化器内科、循環器内科、糖尿病内分泌内科、呼吸器内科、神経内科、膠原病内科の専門外来と、診断がつく前の患者さんをみる一般内科で外来を開いています。  
他診療科と緊密に連携をとり、多彩な症例の診療に取り組んでいます。  
安定期にあると考えられる症例は、地域のクリニックに逆紹介することを念頭においています。

## 診療科情報

医師数 常勤 1名  
出身大学 北海道大学

## 勤務条件

勤務時間 [平日]08:30~17:30 [土曜日]08:30~12:30  
週4.5日以上(週4.0日相談可)  
業務内容 外来診療・病棟管理・検査・当直  
外来診療 2~3コマ/週  
受診者数 20名程度/コマ  
病棟管理数 10床程度  
研究日 応相談  
休日 土曜午後、日曜、祝祭日、慶弔休暇、等  
休暇 年次有給休暇(入職日に3日、以降労働基準法に準拠)、  
年末年始(12/30~1/3)、リフレッシュ休暇(3日間)  
当直有無 あり  
当直体制 3名(内科、外科、脳外科)  
オンコール なし

### 勤務例)

	月	火	水	木	金	土	日
AM	病棟	外来	研究日	病棟	病棟	外来	
PM	病棟	病棟	研究日	外来	病棟		

## 給与・福利厚生

給与 当院規定による  
卒年別給与例 10年目:1,200万円  
諸手当 当直手当、時間外手当  
住宅・寮 住宅手当あり(条件あり)  
昇給 あり  
賞与 なし  
退職金 あり(条件あり)  
保険 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険  
学会活動 学会費用支給あり(上限10万円/年)  
福利厚生 医療費援助制度、福利厚生倶楽部  
(提携リゾート施設の優遇等)、  
院内保育園、各種同好会等

合病院

# 専門性も総合力も身につけた 総合内科医の育成に注力

東埼玉総合病院  
院長 三島 秀康

東埼玉総合病院の内科医の最大の特徴は、「患者さんをトータルに診ることができる」ことです。当院は他科との垣根がなく、コミュニケーションを密に取りながら患者さんを総合的に診る文化があります。それぞれの専門知識を共有し合い、専門外のことも勉強しながら患者さんを診ていくので、幅広い疾患に対するジェネラルな診療スキルを身につけることができます。

現在、当院は年間約3,000件の救急車を受け入れています。また、消化器内科では専門機関で診るレベルの難症例も数多く手がけています。また、学会発表なども積極的に参加できるよう支援していますし、将来を見据えた個人のキャリアプランも尊重するよう心がけています。実際、当院で総合内科医のスキルを身につけた後に、近隣で開業する方もいます。

当院では「働きやすい職場づくり」にも注力しているので、残業は少なく、医師も17時半過ぎには勤務を終えています。当直は月2回程度と他の病院に比べると少なく、オンコールも絶対に来なければならないというものではありません。当院で対応できないときは速やかに他院に紹介するなど、病病連携がしっかり取れているので、医師に大きな負担がかかることはありません。オン・オフがはっきりしているので、一度働き始めると離職が少ないことも当院の特長です。



仲間とともに、最善の医療を地域に提供したいと思う方に、ぜひ仲間に加わっていただきたいですね。